

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

6月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 0件（前月比-, 前年比-）でした。昨シーズンは、インフルエンザ流行は認めていません。昨年11月以降の発生数は計5件のみです。

小児科定点

（全体傾向）

1,713件（前月比1.22、前年比1.51）でした。前月比、前年比とも増加しています。手足口病 372件（前月比3.2、前年比6.1）、咽頭結膜熱 106件（前月比1.9、前年比2.0）の増加が主体となっています。4月にピークを迎えたRSウイルス感染症 277件（前月比0.7、前年比-）は連続して減少しています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 277件（前月比0.7、前年比-）でした。昨年11月から連続して増加し、4月がピークとなりました。以後は連続して減少しています。八代（11.75）、人吉（9.33）、菊池（9.00）が特に高くなっています。
2. 咽頭結膜熱 : 106件（前月比1.9、前年比2.0）でした。前月比、前年比ともに増加しています。1月から5月にかけては大きな変動がなく推移していましたが、6月は前月比1.9と増加しています。水俣（6.00）、宇城（4.25）が特に高くなっています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 75件（前月比1.1、前年比0.6）でした。前年比が低下しています。本年度は例年より低い値で推移しています。
4. 感染性胃腸炎 : 490件（前月比1.1、前年比1.1）でした。前月比、前年比とも大きな変動はありません。2月からは大きな変動がなく推移しています。菊池（18.60）、御船（18.33）、が特に高くなっています。
5. 水痘 : 25件（前月比0.9、前年比1.1）でした。前月比、前年比とも大きな変動はありません。
6. 手足口病 : 372件（前月比3.2、前年比6.1）でした。前年比、前月比ともに増加しています。4月から連続して増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。熊本（16.31）が特に高くなっています。
7. 伝染性紅斑 : 5件（前月比0.4、前年比1.3）でした。大きな変動がなく、低い値で推移しています。
8. 突発性発疹 : 147件（前月比1.1、前年比0.7）でした。前年比は0.7と低下しています。
9. ヘルパンギーナ : 21件（前月比1.0、前年比0.8）でした。前年比は0.8と低下していますが、前月比は変動がありませんでした。例年、夏季に流行しますので、今後の発生動向に注意が必要です。
10. 流行性耳下腺炎 : 4件（前月比0.6、前年比0.2）でした。前月比、前年比ともに低下しています。最近1年間では大きな変動がなく、低い値で推移しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。

2. 流行性角結膜炎 : 報告数 21 件(前月比 1.1、前年同月比 0.8)と前月よりもわずかに増加しています。熊本 20 件、有明 1 件の報告です。年齢別では 20~39 歳にピークがありますが、60 歳以上にも小さい山があります。乳幼児層ではわずか 2 件の報告です。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :

報告数 87 件(前月比 1.4、前年同月比 1.4)で、前月比、前年同月比ともに増加しており、男女別は男性は 53 件、女性は 34 件でした。年齢別では男性は 15~69 歳、女性は 15~70 歳以上と男女共に幅広い年齢層にみられていました。地区別件数は、熊本市が 71 と圧倒的に多く、他は有明が 5、八代が 4、菊池が 3、御船が 2、宇城と人吉が 1 でした。

2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :

報告数 25 件(前月比 1.2、前年同月比 1.7)で、前月比、前年同月比共に増加しており、男女別は男性が 13 件、女性は 12 件でした。年齢別では男性が 15~70 歳以上、女性は 20~70 歳以上と、男女共に幅広い年齢層にみられていました。地区別件数では熊本市が 13、八代が 7、宇城と有明が 2、御船が 1 でした。

3. 尖圭コンジローマ :

報告数は 9 件(前月比 2.3、前年同月比 1.1)で、前月比、前年同月比は共に増加でしたが、前月比は倍以上の増加でした。男女別では男性が 5 件、女性が 4 件で、年齢別では男性は 20 歳~59 歳、女性は 20 歳~49 歳にみられていました。地区別件数では熊本市が 7、菊池と御船が 1 でした。

4. 淋菌感染症 :

報告数は 25 件(前月比 2.3、前年同月比 1.7)で、前月比、前年同月比共に増加でしたが、前月比では倍以上の増加でした。男女別では男性が 20 件、女性は 5 件で、年齢別では男性は 20~59 歳に、女性は 20~39 歳でした。地区別件数では熊本市が 20、宇城が 3、有明と八代が 1 でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :

報告数は 18 件(前月比 : 1.5、前年同月比 : 1.4、男女比 : 9/9)と増加傾向でした。熊本・阿蘇(4)、水俣・人吉(3)、八代(2)、山鹿・有明(1)でした。年齢分布としては 70 歳以上(12)、60~64 歳(2)、65~69 歳(2)と高齢者に多く、一方で 40~49 歳でも散発的に認めました。
▼例年よりやや多めの報告数でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :

報告数は 3 件(前月比 : 1.5、前年同月比 : 1.5、男女比 : 2/1)と横向き推移でした。熊本(2)、有明(1)でした。年齢分布としては 1~4 歳(2)、70 歳以上(1)でした。
▼例年並みの報告数でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :

報告数は 2 件(前月比 : 2.0、前年同月比 : 2.0、男女比 : 1/1)で増加傾向でした。有明(2)でした。年齢分布としては 55~59 歳(1)、70 歳以上(1)でした。
▼例年よりやや多めの報告数でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は1件（前月比：1.0、前年同月比：1.0）と横向き推移でした。熊本(1)で60-64歳(1)でした。
▼例年並みの報告数でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの散発的な報告です。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼昨年同様にほぼ報告はありません。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	15件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	3件
4類感染症	： レジオネラ症	4件
	重症熱性血小板減少症候群	3件
	日本紅斑熱	4件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
	梅毒	11件
	百日咳	4件
新型インフルエンザ等感染症	： 新型コロナウイルス感染症	233件